

## 新潟大学公開実習「環境NPO実習 トキ野生復帰のための自然再生」

実施日：2012年8月20日（月）～8月22日（水）

担当教員：本間航介ほか

担当機関：新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター

住所：〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050

TEL：025-262-6672 Email：homma@agr.niigata-u.ac.jp（本間航介）

集合時刻：2012年8月20日（火）15：15佐渡汽船両津港フェリーターミナル（佐渡市）

\* 1: 新潟港12時35分発カーフェリー利用をお勧めします

\* 2: 現地集合、現地解散です。現地までの交通費は実習費用に含まれません。

集合場所：両津港佐渡汽船ターミナル改札出口

実施場所：新潟大学超域研究院 朱鷺・自然再生学研究センター

新潟県佐渡市新穂潟上1101-1佐渡市トキ交流会館内（tel.0259-22-3885）

アクセス方法：新潟駅万代口からバスまたはタクシーにて新潟港佐渡汽船ターミナルへ（バス15分、タクシー10分）、新潟港から佐渡汽船カーフェリーで2時間35分、またはジェットフォイルで65分。新潟港から車にて15分（実習生は両津港から送迎します）。

対象者：中山間地の環境保全や自然再生、トキ野生復帰事業、環境ボランティアなどに興味をもつ大学生・一般。学年、専攻は問わない。\*：本実習はNPO法人JUON network・新潟大学共催の「トキの島森の楽校2012夏」と併催します。

定員：20名程度（受講希望者多数の場合抽選となります）

実習内容：里山や棚田の利用放棄は、レッドデータブックで指摘される「生物多様性第二の危機」（土地利用の変化を原因とする生物多様性の低下）を招いてきた。トキもまた、この第二の危機によって生息環境を失った代表的な種類であり、佐渡島における同種の野生復帰事業の多くは、実質的にはトキ生息地の生物多様性をどのように底上げして維持するかということテーマとして行われてきた。この実習では、放棄里山林・放棄棚田に実際に手を入れて、水辺ビオトープとして環境再生する作業を体験する。また、野生トキの行動観察などを通して生物多様性保全の最前線を体験する。自然再生をテーマとした活動を行う環境NPOと合同で行う実習なので、環境ボランティアに興味のある学生に特に適している。

\*：本実習に先立って8月18日（土）～19日（日）に開催される、本センター主催の「公開林間実習2012 知られざる森-佐渡の天然スギ林への招待」と連続受講が可能です。連続受講希望の方は、応募時にその旨お知らせ下さい。

参加費用：宿泊費・食費・雑費（トキの森公園協力費・保険料など）の実費合計9000円

8月20日にトキ交流会館到着後に集金します。

別途交通費 新潟港-両津港往復（二等）4640円がかかります。

### ■実習スケジュール■

◆8/20(月)

（新潟港12:35発 両津港15:05着フェリーが便利）

15:15 佐渡汽船両津港ターミナル集合

16:00 講義「トキの野生復帰のための自然再生」(本間航介)

19:00 夕食

◆8/21(火)

6:00 野生トキの観察

8:30 朝食

9:30 里山保全作業

12:00 昼食・休憩

13:00 里山保全作業

17:00 自由時間

19:00 夕食・交流会

◆8/22(水)

7:30 朝食

9:00 里山保全作業

トキの森公園／野生復帰ステーション見学等

12:00 昼食・休憩

13:00 午前の続きなど

15:30 佐渡汽船両津港ターミナル解散

(両津港16:05発 新潟港18:35着フェリーが便利)

**持ち物:**長袖・長ズボン（ジーンズ不可）・雨具・帽子・長靴・軍手・着替え類・筆記用具・リュック  
サック・タオルと洗面用具・水筒、持病薬（以下は持っている人のみ）双眼鏡・カメラ・  
鉋・手鋸・ヘルメット

**注意事項:**山の中での行動が多くなるため、体調管理には十分に注意すること。持病（アレルギー・肝炎など）があり、虫刺され時やケガによる出血時に特別な対処が必要な者は担当教官に事前に申告すること。

**申し込み:**履修希望学者は、以下の情報を記入したE-メールを以下のアドレスに送信して下さい。

Email : **本間航介 <homma@agr.niigata-u.ac.jp> 締切は7月26日です。**

1. 「新潟大学環境NPO実習受講希望」と記入
2. 所属大学・学年・氏名・性別 緊急時連絡先を記入
3. アレルギーなどフィールドにおいて注意すべき疾病がある場合はご相談下さい。
4. 公開林間実習2012との連続受講を希望される方は、その旨付記して下さい。